

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
株式会社さぬきの農	なし	香川県さぬき市	人材確保に向けた法人化	H30年度 伴走支援1回(内専門家派遣1回) R1年度 伴走支援6回(内専門家派遣4回) R2年度 伴走支援1回(内専門家派遣1回)

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は水稲9.5ha、麦10.2haと作業受託を中心とした経営を父と2人でやっている。規模拡大に伴い、①労働力不足を補う人材の確保支援、②収入増加に伴う税務・財務について相談があった。

■現状課題等

- ・相談者は、平成26年度に新規就農して以降、積極的に農地を集積し、規模拡大を図っているほか、地元でいち早くドローンを導入し、地域の水稲約56haの防除作業を受託(H30)。
- ・規模拡大に伴い資材費、修繕費や減価償却費等の農業経営費が増加しており、財務状況見直しのほか、収入の増加に伴う消費税対応を行う必要。
- ・労働力確保のため臨時雇用を導入したが、父の引退を見据え、常勤の雇用契約を結べるよう社会保険や雇用契約等の就業環境を整備する必要。
- ・これらの課題を解決するために、法人化の検討を行う必要。

相談所の支援体勢・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

当初、法人化の相談はなかったものの、相談者の経営状況等から、戦略会議において法人化を提案することとなり、相談者からの聞き取り等を踏まえ、「事業計画の作成」、「人材の確保支援」、「法人化の検討」について、重点的に支援することとなった。支援にあたっては、税理士、社会保険労務士、司法書士を中心に、普及指導員、JA担当者等をチームに編成した。

1. 事業計画の作成(税理士)
決算見込みを踏まえた次期事業計画(計画的な設備投資、消費税納付税額計算方法の適切な選択ほか)について助言
2. 人材の確保
(1)労働条件整備と法人化の助言(税理士)
(2)雇用契約、労災・雇用保険や社会保険の説明及び加入手続き支援(社会保険労務士)
3. 法人化の検討
(1)法人化メリット・デメリットの説明、法人化試算、法人化計画書の作成支援(税理士)
(2)法人設立に伴う留意点説明、定款作成及び法人設立手続き支援(司法書士)



コンバインの収穫作業

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

平成30年12月から支援を行い、相談者の法人化への意識が醸成、令和2年2月5日に株式会社設立された。農地所有適格法人の要件を満たすよう役員は相談者、父、妻(農外就業)の3名とし、株主は相談者と父の2名とした。父のリタイア時には妻が農業に専従し、父の株式を妻に全て譲渡する予定である。

また、令和2年4月から1名常時雇用している。今後は、年間を通じて作業を確保するため、ブロッコリーやキャベツの栽培に取り組む予定。



ドローンによる防除作業

■コーディネーター所感

当初の要望は規模拡大に伴う当面の雇用対策、税務対応の相談だったものの、支援を続ける中で要望が「数年後の経営ビジョンの確立」に変化し、規模拡大、労働力不足、雇用環境整備、家計と農業経営の分離を図るには法人化が最善との結論に至った。

今後の規模拡大による経営発展に期待するとともに、必要に応じて人材育成や事業計画の策定・実行について支援してまいりたい。